科目名	特別講義２							年度	2026
英語科目名	Special Lecture 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	志鎌 克彦/髙野 清宗		教員の実務経験		有	実務経験の職種		レクター/アーティ	

【科目の目的】

普段の授業内容では扱わない内容の講義を実施し、より幅広く音楽関連の知識を得ることを目的とする。また、課外活動にも積極的に参加し、他者とのコミュニケーション能力の強化や共同性を養う事も目的とする。

【科目の概要】

特別講師を招いた特別授業を開催し、アーティストとして必要な知識とコミュニケーション能力を中心に学ぶ。

【到達目標】

A. PAの基礎を理解できる
B. 照明の基礎を理解できる
C. 学科コラボに参加できる
D. レコーディング実習に参加できる
E. 発表会のサポートに参加できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。
下記の授業テーマは過去に開催された特別講義の内容であり、年度により内容が異なる場合がある。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	PAの基礎を理解でき、要点を説明できる		PAの基礎を理解できる		PAの基礎を理解できない
到達目標 B	照明の基礎を理解でき、要点を説明できる		照明の基礎を理解できる		照明の基礎を理解できない
到達目標 C	学科コラボに参加でき、納得のいく作品が完成できる		学科コラボに参加できる		学科コラボに参加できない
到達目標 D	レコーディング実習に参加でき、納得のいく作品が完成できる		レコーディング実習に参加できる		レコーディング実習に参加できない

到達目標 E	発表会のサポートに参加でき、ベストパフォーマンスできる		発表会のサポートに参加できる		発表会のサポートに参加できない

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

レポート　80%　提出されたレポートの内容により評価
平常点　　20%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	特別講義２	年度	2026
英語表記	Special Lecture 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	PA講習①	PAの基礎を学ぶ	1	PAの役割	PAの役割について理解できる		
			2	ミキサーの構造	ミキサーの構造について理解できる		
			3	各部の名称	各部の名称を理解できる		
2	PA講習②	エフェクトの基礎を学ぶ	1	コンプレッサー	コンプレッサーの役割を理解できる		
			2	リバーブ	リバーブの役割を理解できる		
			3	ディレイ	ディレイの役割を理解できる		
3	PA講習③	モニターの基礎を学ぶ	1	モニタースピーカー	モニタースピーカーについて理解できる		
			2	配線方法	配線方法について理解できる		
			3	音の出し方	音の出し方を理解できる		
4	照明講習①	照明の基礎を学ぶ	1	照明の役割	照明の役割について理解できる		
			2	機材の名称	機材の名称を理解できる		
			3	RGB	RGBについて理解できる		
5	照明講習②	卓の操作方法を理解する	1	フェーダー操作	フェーダー操作ができる		
			2	照明器具の操作	照明器具の操作ができる		
			3	DMX	DMXについて理解できる		
6	照明講習③	シーンについて理解する	1	シーン	シーンについて理解できる		
			2	シーンの保存	シーンの保存ができる		
			3	シーンの再生	シーンの再生ができる		
7	学科コラボ①	MVを制作する	1	楽曲提供	楽曲提供ができる		
			2	撮影	撮影に参加できる		
			3	ディスカッション	ディスカッションできる		
8	学科コラボ②	リリックビデオを制作する	1	楽曲提供	楽曲提供ができる		
			2	制作	撮影に参加できる		
			3	ディスカッション	ディスカッションできる		
9	学科コラボ③	楽曲提供・ライブを行う	1	楽曲提供	楽曲提供ができる		
			2	ライブ	撮影に参加できる		
			3	ディスカッション	ディスカッションできる		

10	レコーディング参加①	音響芸術科の授業にボーカルで参加する	1	打ち合わせ	自分のイメージを共有できる		
			2	レコーディング	レコーディングに参加できる		
			3	ディスカッション	ディスカッションできる		
11	レコーディング参加②	音響芸術科の授業にバンドで参加する	1	レコーディング	自分のイメージを共有できる		
			2	ミックス	レコーディングに参加できる		
			3	ディスカッション	ディスカッションできる		
12	レコーディング参加③	音響芸術科の卒業制作に参加する	1	レコーディング	自分のイメージを共有できる		
			2	ミックス	レコーディングに参加できる		
			3	ディスカッション	ディスカッションできる		
13	発表会サポート①	ボーカルアンサンブルのボーカルをする	1	リハーサル	リハーサルをスムーズに進行できる		
			2	本番	本番をスムーズに進行できる		
			3	振り返り	振り返り、反省点を自覚できる		
14	発表会サポート②	ボーカルアンサンブルの演奏サポートをする	1	リハーサル	リハーサルをスムーズに進行できる		
			2	本番	本番をスムーズに進行できる		
			3	振り返り	振り返り、反省点を自覚できる		
15	発表会サポート③	ステージのローディーをする	1	リハーサル	リハーサルをスムーズに進行できる		
			2	本番	本番をスムーズに進行できる		
			3	振り返り	振り返り、反省点を自覚できる		
評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他 自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							